



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日

上場会社名 小松マテレー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 中山 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 高木 泰治 (TEL) 0761-55-8000
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,325	△6.7	763	△29.7	1,046	△24.1	584	△41.0
2019年3月期第2四半期	19,645	5.4	1,085	14.6	1,378	8.1	991	7.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 487百万円(△23.9%) 2019年3月期第2四半期 641百万円(△59.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	13.63	—
2019年3月期第2四半期	23.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	47,597	35,700	74.7	829.04
2019年3月期	47,249	35,556	75.0	825.71

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 35,568百万円 2019年3月期 35,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2020年3月期	—	7.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	38,000	△2.8	2,100	△3.0	2,700	△2.8	1,800	△15.5	41.95	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規1社 (社名) 小松美特料繊維(海安)有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	43,140,999株	2019年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	237,357株	2019年3月期	237,307株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	42,903,670株	2019年3月期2Q	42,928,342株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中、日韓間の経済摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫等にみられるように、先行きの不透明感が急速に広がっております。また国内の消費動向も、将来への不安等を背景とした生活者の節約志向は依然根強く、弱含みの状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは高度化並びに多様化する市場の要望に対応するため、品質向上を第一とし、グローバルマーケットに通用する先端ファブリックの開発を加速させてまいりました。また、海外企業との提携を含め、海外市場の拡大を積極的に進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、183億25百万円（前年同期比6.7%減）となり、営業利益は7億63百万円（前年同期比29.7%減）、経常利益は10億46百万円（前年同期比24.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億84百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック部門は、国内外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりました。なかでも欧州向けのラグジュアリーファッション、北米向けのスポーツ分野、及び中東向けの民族衣装については堅調に推移し増収となりました。一方、欧州アッパーミドル向けのファッション、欧州向けのスポーツ分野及び韓国向けのファッション分野は減収となりました。また、国内向けは、総じて厳しい市場環境の影響を受け、ファッション及びユニフォーム分野が伸び悩み、当部門全体は減収となりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉のメディカル分野、及び建材、電材については概ね計画通りに推移しました。リビング分野については、不採算商品からの撤退を図り減収となったものの、当部門全体では増収となりました。

製品部門は、不採算事業からの撤退を行った結果、減収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は180億17百万円となりました。

(物流物販事業)

物流並びに物販分野の当第2四半期連結累計期間の売上高は3億7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、475億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億47百万円増加しました。これは主に投資有価証券が11億46百万円、有価証券が10億円、受取手形及び売掛金が7億92百万円減少したものの、現金及び預金が32億60百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、118億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加しました。これは主に賞与引当金が1億95百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、357億円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が51百万円、為替換算調整勘定が47百万円減少したものの、利益剰余金が2億40百万円増加したことによるものであります。

②当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ36億60百万円増加し、80億38百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は19億67百万円（前年同期は10億78百万円の資金の増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益8億23百万円、売上債権の増加額7億56百万円、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額3億42百万円、法人税等の支払額2億6百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は16億77百万円（前年同期は7億16百万円の資金の減少）となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却及び償還による収入10億2百万円、有価証券の償還による収入10億円、支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出3億23百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は3億68百万円（前年同期は3億84百万円の資金の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額3億43百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年9月27日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,779	8,040
受取手形及び売掛金	8,824	8,031
有価証券	1,500	500
商品及び製品	1,715	1,579
仕掛品	772	814
原材料及び貯蔵品	2,329	2,374
その他	125	114
貸倒引当金	△28	△23
流動資産合計	20,017	21,429
固定資産		
有形固定資産	7,980	7,992
無形固定資産	363	340
投資その他の資産		
投資有価証券	17,096	15,950
繰延税金資産	1,113	1,189
その他	679	696
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	18,887	17,834
固定資産合計	27,231	26,167
資産合計	47,249	47,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,567	5,214
未払法人税等	246	326
賞与引当金	512	707
その他	1,161	1,441
流動負債合計	7,488	7,690
固定負債		
役員退職慰労引当金	344	344
退職給付に係る負債	3,714	3,740
その他	145	121
固定負債合計	4,204	4,206
負債合計	11,693	11,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,701	4,701
利益剰余金	25,345	25,586
自己株式	△118	△118
株主資本合計	34,609	34,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683	631
為替換算調整勘定	116	68
退職給付に係る調整累計額	16	18
その他の包括利益累計額合計	816	718
非支配株主持分	130	131
純資産合計	35,556	35,700
負債純資産合計	47,249	47,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,645	18,325
売上原価	15,494	14,821
売上総利益	4,151	3,504
販売費及び一般管理費	3,066	2,740
営業利益	1,085	763
営業外収益		
受取配当金	89	93
持分法による投資利益	156	133
その他	79	82
営業外収益合計	325	309
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	18	22
不動産賃貸原価	—	4
その他	13	0
営業外費用合計	33	27
経常利益	1,378	1,046
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	9	20
投資有価証券評価損	—	205
75周年記念事業費	11	—
災害損失	23	—
特別損失合計	45	225
税金等調整前四半期純利益	1,332	823
法人税、住民税及び事業税	344	286
法人税等調整額	△5	△52
法人税等合計	338	233
四半期純利益	993	589
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	991	584

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	993	589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△273	△43
為替換算調整勘定	△69	△51
退職給付に係る調整額	△2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△8
その他の包括利益合計	△352	△101
四半期包括利益	641	487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	644	487
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,332	823
減価償却費	619	603
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△44	23
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△5
その他の引当金の増減額(△は減少)	△13	—
持分法による投資損益(△は益)	△156	△133
受取利息及び受取配当金	△125	△128
支払利息	1	0
固定資産除売却損益(△は益)	10	20
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	—	205
売上債権の増減額(△は増加)	△54	756
たな卸資産の増減額(△は増加)	△395	35
仕入債務の増減額(△は減少)	152	△342
その他	41	188
小計	1,366	2,043
利息及び配当金の受取額	127	130
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△414	△206
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,078	1,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	25	—
有価証券の取得による支出	△500	—
有価証券の償還による収入	500	1,000
投資有価証券の取得による支出	△698	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	1,002
固定資産の取得による支出	△544	△323
固定資産の売却による収入	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△716	1,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△343	△343
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△39	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△384	△368
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37	3,260
現金及び現金同等物の期首残高	5,296	4,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,259	8,038

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,291	353	19,645	—	19,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	946	966	△966	—
計	19,311	1,300	20,612	△966	19,645
セグメント利益	1,037	44	1,082	2	1,085

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,017	307	18,325	—	18,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	994	1,011	△1,011	—
計	18,035	1,301	19,337	△1,011	18,325
セグメント利益	750	6	757	5	763

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。